

山梨県知事を表敬訪問する

肝炎対策特別大使の伍代夏子さん



平成28年3月9日

「山梨県庁（山梨県甲府市）」

肝炎の早期発見・早期治療の重要性を訴える肝炎対策特別大使の伍代夏子さん

肝炎ウイルス検査の必要性や早期発見・早期治療の重要性について広報・啓発している肝炎対策特別大使の伍代夏子さんは、後藤齊知事を表敬訪問し、肝炎対策の推進について山梨県の協力を要請しました。この表敬訪問は、「肝炎総合対策推進国民運動事業（「知って、肝炎」プロジェクト）」※の活動の一環として行われたものです。

伍代夏子さんは肝炎の正しい知識の普及や肝炎ウイルス検査の重要性を呼びかけるとともに、「C型肝炎は副作用がほとんどない治療薬で治せる時代になっている。肝炎ウイルス検査は簡単な検査なので、早期発見・早期治療に向けて、山梨県の多くの皆様に呼びかけて欲しい」と要望し、後藤知事からは、「早期発見・早期治療に向けてしっかりと啓発に取り組んでいきたい。」との協力姿勢が打ち出されました。

肝炎は早期発見、早期治療がとても重要です。まだ、肝炎ウイルス検査を受けたことがない方がおられましたら、これを機会にぜひ検査を受けてください※。

(健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室)

※「知って、肝炎」プロジェクト 公式ホームページ (<http://www.kanen.org/>)



※ 肝炎ウイルス検査マップ (<http://www.kanen.ncgm.go.jp/kan-en/>)



肝炎対策推進への協力を呼びかける伍代夏子さん

